

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	那須塩原市
-----	-------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	恋するなすしおばらマルシェ	総事業費	1,178,483	1,194,866	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,373,349
		うち市町支出額	792,000	756,000	500,000	0	0	2,048,000
		うち県交付金	396,000	378,000	250,000	0	0	1,024,000
2	三島コミュニティ「防災研修会」	総事業費	121,492	91,856	100,000	50,000	50,000	413,348
		うち市町支出額	96,000	63,000	50,000	0	0	209,000
		うち県交付金	48,000	31,500	25,000	0	0	104,500
3	那須チーズフェスタ	総事業費	376,815	382,401	400,000	400,000	400,000	1,959,216
		うち市町支出額	132,489	99,100	0	0	0	231,589
		うち県交付金	66,244	49,550	0	0	0	115,794
4	田んぼアート制作事業	総事業費	593,104	667,190	432,000	400,000	400,000	2,492,294
		うち市町支出額	154,548	166,000	0	0	0	320,548
		うち県交付金	77,274	83,000	0	0	0	160,274
5	家族で農業・食育体験事業	総事業費	1,135,534	1,008,450	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,143,984
		うち市町支出額	698,827	570,325	500,000	0	0	1,769,152
		うち県交付金	349,413	285,162	250,000	0	0	884,575
6	身近な生き物の野外観察	総事業費		235,358	200,000	200,000	100,000	735,358
		うち市町支出額		172,272	140,000	100,000	0	412,272
		うち県交付金		86,136	70,000	50,000	0	206,136
7	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-	総事業費		936,584	1,000,000	800,000	500,000	3,236,584
		うち市町支出額		842,925	700,000	400,000	0	1,942,925
		うち県交付金		421,462	350,000	200,000	0	971,462
8	南地区の防犯・防災・安全環境を子どもたちと考える事業「南地区マップづくり」	総事業費		331,966	500,000	300,000	300,000	1,431,966
		うち市町支出額		283,658	350,000	150,000	0	783,658
		うち県交付金		141,829	175,000	75,000	0	391,829
9	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート	総事業費		508,755	500,000	500,000	300,000	1,808,755
		うち市町支出額		225,356	350,000	250,000	0	825,356
		うち県交付金		112,678	175,000	125,000	0	412,678
10	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」	総事業費		1,571,572	1,000,000	1,000,000	1,000,000	4,571,572
		うち市町支出額		900,000	700,000	500,000	0	2,100,000
		うち県交付金		450,000	350,000	250,000	0	1,050,000
市町計		総事業費	3,405,428	6,928,998	6,132,000	5,650,000	5,050,000	27,166,426
		うち市町支出額	1,873,864	4,078,636	3,290,000	1,400,000	0	10,642,500
		うち県交付金	936,931	2,039,317	1,645,000	700,000	0	5,321,248

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	恋するなすしおばらマルシェ
事業主体の名称	まちづくり委員会
代表者の名称	室越 礼一
事業主体の所在	〒329-3146 那須塩原市下中野913
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:「まちづくりは人づくり」の指針のもと、地域活性化のイベントや各種勉強会を通して人材育成を図り、地域に貢献する。</li> <li>・設立年月日:平成16年10月1日</li> <li>・設立経緯:平成17年1月1日の3市町合併に当たり、那須塩原駅周辺(東那須野地区)の活性化を目指して設立された。</li> <li>・構成員等:市内東那須野地区 商工業関係者、地域住民 20人</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>今までは、地域内の農観商工に関わる方がそれぞれ独自に勉強会や単発イベントを実施してきたが、効果が限定的であった。そのため、農観商工それぞれの分野における人材を育成することを目的に、「なすしおばらフェスタ」を開催して、地域産業活性化を図ってきた。しかし、新たな地域産業や、就業者の増加につながっていないため、いかにして分野を超えた異業種交流・連携を進めていくかが課題である。</p>
事業目的	<p>多くの観光客等が行き交う那須塩原駅前マルシェを開催し、農観商工が同時に交流する場、市民、観光客等とも直接つながる場を創出することにより、相互のネットワークを構築するとともに、新しい発想を生み出し、産業の活性化を図ることを目的とする。さらに、新たな発想から生み出された事業(仕事)により、就業の場を創出することを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】                  ■恋するなすしおばらマルシェの開催                  &lt;内容&gt;                  那須塩原駅西口広場にてマルシェを開催した。那須塩原産の野菜やお米の販売、塩原温泉、板室温泉のPR、地元野菜を使用した飲食店の出店、那須塩原市のPRを行う。農観商工の出店者が連携できるようにするため、開催前の出店者会議を実施する他、SNSを利用しグループを構築する。また、マルシェを開催することにより出店者どうしの繋がりをつくり、週末起業家やこれから起業する人を応援する。                  &lt;実施日&gt;                  平成29年6月4日、6月10日、7月2日、8月6日、9月3日、10月1日                  &lt;各回来場者数&gt;                  1,500人~2,000人                  《観光誘客のための情報発信》                  ・ポスター、チラシを作成し、公共施設や案内所等に設置・配布。フリーペーパーの新聞折り込みを実施</p> <p>【平成30年度以降】                  前年度の実施結果を評価分析し、継続してマルシェを開催する。毎週第1日曜日=「なすしおばらマルシェ」の定着を目指す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】・未来を創る地域産業の活性化のために ・未来に集う人々の活発な交流のために                  【重点施策】「Koyou(雇用)」新規就農者、創業者への支援、「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。                  【目標指標】就業者数 59,140人(平成22年度)⇒60,000人(平成31年度)【H27実績 59,869人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	事業内容	なすしおばらマルシェの開催	恋するなすしおばらマルシェの開催	恋するなすしおばらマルシェの開催	
事業費	1,178,483	1,194,866	1,000,000	3,373,349	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	792,000	756,000	500,000	2,048,000	0
うち県交付金	396,000	378,000	250,000	1,024,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	386,483	438,866	500,000	1,325,349	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	三島コミュニティ「防災研修会」
事業主体の名称	三島地区コミュニティ運営委員会
代表者の名称	赤沢 修一
事業主体の所在	〒 329-2751 那須塩原市東三島6丁目337
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的:住民の自主的参加をもとに、住み良い地域づくりに資することを目的に、文化教育部、福祉部、まちづくり部、まつり部、広報部の事業部が中心となり、各種事業を実施している。</li> <li>設立年月日:昭和62年4月29日</li> <li>構成員等:地区住民 11,906人</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>三島地区は、市内でも人口の多い地区であり、本市人口の10%超の約12,000人が生活している。そこで、三島地区コミュニティでは、平成23年の東日本大震災を契機として、自主防災事業の研修会の実施や石巻市仮設住宅住民との交流事業などを展開している。その結果、少し震度の大きい地震が発生した際には隣近所で声をかけあうようになるなど、自主防災の意識が高まってきた。</p> <p>しかし、今後高齢化も進むにつれ、年代を超えての自主防災活動の維持が難しくなることが懸念されており、いかにして地域を支えるための年代の枠に捉われないリーダーの育成が課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害を「自分ごと」ととらえてもらい、災害発生時には自ら迅速に対応できるようにする。</li> <li>災害発生時に隣近所助け合えるようにするなど、防災意識の向上を図る。</li> <li>防災意識の高い地区として、情報を発信することで、市民の満足度を向上させる。</li> </ul>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>■「防災研修会」の開催          &lt;期日及び場所&gt;平成29年7月22日、那須地区消防組合          &lt;対象&gt;三島地区コミュニティ委員、自治会防災担当者、住民 &lt;参加者数&gt; 40名          &lt;内容&gt;那須地区消防組合の施設を見学し、大規模災害発生時の対応、救急対応の流れについて確認する。また、消防組合とコミュニティでの協力体制、役割分担を図ることができるかを確認する。また、8月8日には研修の内容を踏まえて、自主防災連絡会議を開催した。</p> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会開催にあたり、チラシやコミュニティだより等で参加を呼びかける。</li> <li>実施結果をHP等で発信することで、地区外にも防災の意識向上の重要性、地区の住民の意識の高さをアピールする。</li> </ul> <p>【平成30年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>前年度の実施結果の効果等を検証、分析し、「研修会」を実施する。</li> <li>参加した住民が、まだ参加していない住民へ教える「勉強会」を開催し、自主的な取組を目指す。</li> </ul>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を守る災害対応力の強化のために</p> <p>【重点施策】Kurashi(暮らし)「安心・安全な生活環境の確保に寄与する。</p> <p>【目標指標】災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度          基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上【H27実績52点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	防災研修会の開催	防災研修会の開催	防災研修会の開催		防災勉強会の開催
事業費	121,492	91,856	100,000	313,348	50,000
市町支出金 (ソフト事業分)	96,000	63,000	50,000	209,000	0
うち県交付金	48,000	31,500	25,000	104,500	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	25,492	28,856	50,000	104,348	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	那須チーズフェスタ
事業主体の名称	那須ナチュラルチーズ研究会
代表者の名称	落合 一彦
事業主体の所在	〒325-0052 那須塩原市中央町5-3
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 地元の新鮮かつ高品質な生乳を原料としたナチュラルチーズの普及拡大を図るため、チーズづくり技術の普及定着とチーズ食推進に関する情報交換や研修会等の企画を行う。</p> <p>・設立年月日: 平成24年9月26日</p> <p>・構成員等: 8人(会の目的に賛同する個人)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>市の生乳生産量は本州一であるが、その事実を知らない市民も少なくなく、せっかくの地元産の新鮮で栄養価の高い農産物を家庭料理に取り入れていない家庭が多く存在していると予測できる。こうした状況のもと、本会では、市民や子ども達に地元の特産品や食文化について伝える機会を増やそうと、地元でとれた生乳を原料としたチーズを通じた食育に取り組むことが必要と考え、2年間チーズイベント(ゲーフェス)を実施してきた。今後は、那須塩原市民に地元産のチーズがさらに根付くよう推進するとともに、チーズの魅力を全国に向けて発信していくことが課題ある。</p>
事業目的	<p>チーズ作り体験等、各種体験をとおして、チーズに関する知識や地元特産品に対する地域住民の興味関心を高め、市の魅力の再発見を促進する。また、地産地消を推進することで地域住民の食生活をより豊かなものにし、那須地域で生産されるチーズの魅力をより多くの人々に周知する。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>■那須チーズフェスタ2017の開催 ※昨年度まで「那須塩原ゲーフェス」として開催          地元産チーズを使用したピザの提供、チーズ料理実演講習、親子チーズ作り体験会          ・日時 平成29年10月15日(日) 10:00~15:00 ・場所 西那須野運動公園(畜産フェアの中で開催)          ・対象 市民(特に親子)、栃木県及び近県の方          ・内容 地元産チーズを使用したピザの提供、有名シェフによるチーズ食講話、親子チーズづくり体験          《情報発信》          ・事業の実施にあたり、HPや広報、市内各所でのポスター掲示とチラシの配布により参加を呼びかける。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>■那須塩原ゲーフェスの開催          検証・分析を踏まえ、市内外に広く交流できるよう対象者を拡大し、市の魅力を積極的にPRする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために          【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て親子の交流促進及び「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。          【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	那須塩原ゲーフェスの開催	那須チーズフェスタ2017の開催			那須チーズフェスタ2018の開催
事業費	376,815	382,401	0	759,216	400,000
市町支出金 (ソフト事業分)	132,489	99,100	0	231,589	0
うち県交付金	66,244	49,550	0	115,794	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	244,326	283,301	0	527,627	400,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	田んぼアート制作事業
事業主体の名称	アグリパル塩原会「田んぼアート制作実行委員会」
代表者の名称	君島 圭一
事業主体の所在	〒329-2801 那須塩原市関谷442
事業主体の概要	<p>・団体の目的:市地域資源総合管理施設「アグリパル塩原」の指定管理者として管理運営を行い、塩原地区の農業、農村の振興を促進することで、地域の活性化に寄与するとともに、会員相互の親睦の増進を図る。また、道の駅「湯の香しおばら」の駐車場及び芝生管理業務も請け負っている。</p> <p>・設立年月日:平成19年4月19日(実行委員会平成26年9月1日)</p> <p>・構成員等:167人(主に塩原地区の農業経営者)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	観光客を呼び込むために「さなぶりまつり」や「ジャガイモ掘り体験」などのイベントを実施してきたが、観光客数が原発事故発生前後で約15%落ち込んでいる。そこで、H27から田んぼアートを野外の美術館として発信し、観光客の入込数の増加に取り組んできた。しかし、依然として誘客の回復にはつながらないため、会員以外にも参加を呼びかけて地域が盛り上がるよう地域住民の一体感の醸成が必要である。
事業目的	市民等が参加して田んぼアートを作成することにより、観光客の入込数を増加させることで地域の活性化を図るとともに、田んぼの持つ環境への役割や米の大切さを知ってもらうことを目的とする。さらに、田んぼアートを制作することにより、住民同士のつながりや目標が明確になり、地域の一体感による地区の賑わいが生まれ、地域を離れる人を減らし、地域にやってくる人を増やす。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①田植え体験事業 5月14日(会員16人、一般9名参加)</p> <p>②観覧所設置・自由観賞 5月14日～9月24日 観覧者 約700人</p> <p>③田んぼアート観賞会 未実施</p> <p>④稲刈り体験事業 9月24日(会員16人、一般10人参加)</p> <p>⑤田んぼアートの維持管理 通年</p> <p>《情報発信》</p> <p>・新聞掲載を使ってPRを実施した。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>①～⑤を継続し、検証・分析を踏まえ、田んぼの魅力積極的にPRしながら、観光客の入込数の増加を目指す。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kouryu(交流)」市全体で魅力ある観光地づくりに寄与する。</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること【H27実績 214人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理	①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理			①田植え体験事業 ②観覧所設置・自由観賞 ③田んぼアート観賞会 ④稲刈り体験事業 ⑤田んぼアートの維持管理
事業費	593,104	667,190		1,260,294	432,000
市町支出金 (ソフト事業分)	154,548	166,000		320,548	0
うち県交付金	77,274	83,000		160,274	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	438,556	501,190		939,746	432,000

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	家族で農業・食育体験事業
事業主体の名称	ふるさとにしなす産直会
代表者の名称	金田 文男
事業主体の所在	〒329-2745 那須塩原市三区町656-2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:農家と非農家の混在地区であることを強みとして、地区内非農家や一般消費者に対して地場産野菜を直接販売したり、地産地消の推進により「安全・安心・地元産」を積極的にPRすることで地域の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:平成8年11月22日</p> <p>・構成員等:地区農家等 170人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の伝統行事や、地域で採れる野菜などの農作物がどのように育つか分からない世代が多い。これは、人口の流失などにより、子ども達に地域の伝統芸能や食の文化について伝える機会が少ないことに起因していると考えられる。そのため、農業体験を通じた食育を推進することが大切であり、そのことを市内外へPRすることで市の魅力の発信につながるから、交流をきっかけとした定住化へのさらなる呼びかけが重要となる。</p>
事業目的	<p>家族で農業の体験を通じて食糧の大切さや作物の成長を学び、自分たちで育てた農作物を調理して食育を行う。また、地元で採れる作物について子どもたちが学ぶ機会を設け、地産地消の重要性を理解してもらうことにより、子育て世代に市内の育児環境の良さを認識し、評価してもらう。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】 地元の農作物の収穫やそばの脱穀、調理体験を年4回実施した。市内外から多くの参加者があり、子どもの体験教育はもとより、地産地消による産業振興及び地域の活性化に寄与した。 ①地元農家での農業体験……アスパラ、きゅうり、なす等野菜の収穫、 ②収穫した農作物の調理体験……収穫したそばの粉ひき体験、そば打ち、そばゆで、釜の蓋饅頭づくり、たくわん漬け等を実施した。 &lt;参加者数&gt; 6月18日50人、7月16日50人、11月19日40人、12月17日33人</p> <p>【平成30年度以降】 ①、②を継続し、検証・分析を踏まえ、農業体験を通じた市の魅力を積極的にPRしなから、交流人口と定住者の確保を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために 【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て親子の交流促進及び「Kouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。 【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験	①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験		①農業体験 ②収穫した農作物の調理体験
事業費	1,135,534	1,008,450	1,000,000	3,143,984	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	698,827	570,325	500,000	1,769,152	0
うち県交付金	349,413	285,162	250,000	884,575	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	436,707	438,125	500,000	1,374,832	1,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
連絡先	電話 0287-62-7151
	FAX 0287-62-7220
	E-mail kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	身近な生き物の野外観察
事業主体の名称	ジュニア生き物クラブ
代表者の名称	松村 雄
事業主体の所在	〒325-2745 那須塩原市三区町658-72
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 自然に接する機会が乏しく、生き物を肌で感じる事が少なくなった子供たちに、身近な生き物に触れ親しみ、観察したり調べたりする機会を与える。子供たちが、実体験を通して多様な生き物がすむ自然のすばらしさに触れ、感じ取ることにより、自然の大切さや生命の尊さを学ぶことを目指す。</p> <p>・設立年月日: 平成25年6月23日</p> <p>・構成員等: 14人(指導員)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>現在の子供たちは、テレビ・ビデオの映像や読書で豊富な知識を得ることはできるが、直接自然に接する機会は乏しい。子供たちが地域の身近な生き物に親しみ、実体験を通して感覚的に自然を知り、科学的な視点から自然のシステムを理解することが必要である。</p>
事業目的	<p>那須塩原市の豊かな山野で、地域の子どもたちに直接自然と接してもらい、体験をとおして自然を学んでもらう。また、多様な生き物を観察し、親しむことで那須塩原市の自然環境の素晴らしさを知り、魅力的な地域資源として再認識するとともに郷土愛の醸成につなげることを目的とする。さらに、活動内容について情報発信することにより、市内外の子育て世代が、豊かな自然環境の中で、体験を通して成長することができる子育て環境の良さを認識してもらおう。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p>子どもたちが那須塩原市の自然や生き物に対する興味を強くし、自然や生命の尊さを学んだ。保護者アンケートから、地元での自然に対する話題が増え、動植物や環境に興味を持つようになったとの回答を得た。</p> <p>&lt;参加者&gt;市内の小学生14名</p> <p>&lt;実施内容&gt;5/28 身近な自然探検(烏ヶ森公園)、6/25 山の動植物観察(大沼園地)、7/23 水辺の生き物調べ(博物館前) 8/27 セミのぬけがらしらべ(烏ヶ森公園)、9/24 赤とんぼを探そう(那須野営場)、10/22 コモを知ろう(講師による講義) 11/26 木の実探検(那須野営場)、12/17 野鳥の観察(鳥野目河畔公園)、1/27 冬の森探検(大沼園地)、2/25 閉校式、ピザづくり体験</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>■身近な生き物の野外観察</p> <p>検証・分析を踏まえ、より多くの子供たちに実際に自然に触れ合う体験の機会を作る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kyouiku(教育)体験教育の充実」に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察	身近な生き物の野外観察		身近な生き物の野外観察
事業費	235,358	200,000	200,000	635,358	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	172,272	140,000	100,000	412,272	0
うち県交付金	86,136	70,000	50,000	206,136	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	63,086	60,000	100,000	223,086	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
連絡先 FAX	0287-62-7220
E-mail	kyouumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	「地域力の向上」をめざして-安全・防災で安心して暮らせる「絆」づくり-
事業主体の名称	大山コミュニティ運営委員会
代表者の名称	田口 常信
事業主体の所在	〒329-2712 那須塩原市下永田8-7-86 (大山公民館内)
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 地区内組織・機関・団体との連携を密にし、コミュニティづくりの計画及び運営について、住民の意思反映と住民の自主参加を促進して、住民相互の連帯感と生活文化の向上を図り、明るい地域づくりに資することを目的とする。</p> <p>・設立年月日: 平成2年8月5日</p> <p>・構成員等: 地区住民等 11,408人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	近年、都市化が進み、様々な生活上の問題が浮上してきた。特に地域住民の連帯意識が薄れ、地域の「絆」が弱体化してきており、災害や高齢者の見守りに対応しにくい状況にある。また、地域の伝統行事や地域にある様々な団体の組織編成や運営に支障が出てきている。そのため、住民相互の連帯意識を高め、地域力を向上させることが必要である。
事業目的	地域の連帯意識を高めるために、住民の意識啓発を図り、地域住民が安心して暮らすことができる「絆」づくりの実現から「地域力の向上」に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①②「あいさつ運動」「声かけ運動」意識啓発のためA2版ポスター200枚(事業所、学校)、A4版ポスター2600枚(全戸)に配布</p> <p>③キャッチコピーの募集 215件の応募があり「みんなで声かけ 地域の安全」に決定</p> <p>④電柱巻き看板の設置 上記のキャッチコピーにて、電柱巻き看板を作成し、地域200本の電柱に設置した</p> <p>⑤ボランティア「大山きずなづくり隊」を組織して31名が参加した。「いつもと違う家探しゲーム(不審者、一人暮らし等)」、「ゴミ探しゲーム(不法投棄)」「危険箇所探しゲーム」等を実施</p> <p>⑥ヒヤリハット研修 警察署の協力を得て実施</p> <p>⑦HUGゲーム(避難所運営ゲーム)の実施 1回目はコミュニティの住民で実施し、2回目は避難所となる地域の学校で教職員にも参加してもらい(総勢200名)実施した。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>実績からの評価を踏まえ、各活動をより充実させる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を守る災害対応力の強化のために ②未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】Kurashi(暮らし)安心・安全な生活環境の確保、「Kouryu(交流)地域コミュニティの活性化」に寄与する。</p> <p>【目標指標】①災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】</p> <p>②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること【H27実績 214人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤おおやま警備隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤おおやま警備隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム	①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤おおやま警備隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム		①意識啓発 ②あいさつ・声かけ運動 ③キャッチコピーの募集 ④電柱巻き看板の設置 ⑤おおやま警備隊の活動 ⑥ヒヤリハット研修 ⑦HUGゲーム
事業費	936,584	1,000,000	800,000	2,736,584	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	842,925	700,000	400,000	1,942,925	0
うち県交付金	421,462	350,000	200,000	971,462	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	93,659	300,000	400,000	793,659	500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	南地区の防犯・防災・安全環境を子どもたちと考える事業「南地区マップづくり」
事業主体の名称	南地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	豊住 昌隆
事業主体の所在	〒329-2733 那須塩原市二区町401
事業主体の概要	・団体の目的:南地区内において、住民相互の連帯感と文化の向上を図り、明るいまちづくりを行うことを目的とする。 体育文化部・女性部・福祉部・地域振興部を組織して住民の意思が反映された事業を展開している。 ・設立年月日:昭和59年2月1日 ・構成員等:地区住民等 6,789人
当該事業に係る地域の現状と課題	当地区は市の南西部に位置し、区域内に国道4号線、461号線、県道361号、広域農道が走る交通の要衝となっており、住宅地化が進む一方で、防犯、防災対策面は対応が不十分となっている。そのため安全環境を重視した地域再点検の必要性が生じている。
事業目的	子どもたちが子どもの目線で地域内の防犯・防災・安全環境等の必要な個所を探索して「南地区マップ」を作成し、地域内全戸配布することで、地域全住民が地域を再認識し、地域に対する愛着精神や、地域内の防犯、防災に対する意識の高揚啓発を目的とする。同時に、コミュニティ活動への参加の意欲を満足度を高める。
事業概要	【平成29年度】 ■南地区マップづくり 子どもたちが子どもの目線で地域内の防犯・防災・安全環境等の必要な個所を探索して「南地区マップ」を作成し、南小学校全児童、地区内全戸配布 ・市内公民館に設置 6/7・6/27打ち合わせ、7/29・8/10・8/20子どもたちによる地域内点検、9/12・10/17・12/5・2/15再点検、原稿作成会議、年度末 配布  【平成30年度以降】 マップを利用して、子どもたちと共に、「防犯」「交通安全」等啓発用の看板作りを行うなどの事業を展開していく。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標】①未来を守る災害対応力の強化のために ②未来に集う人々の活発な交流のために 【重点施策】Kurashi(暮らし)「安心・安全な生活環境の確保、「Kouryu(交流)地域コミュニティの活性化に寄与する。 【目標指標】①災害に対する備えの強化と生活安全確保に対する市民満足度 基準値(平成22年度)59点 ⇒ 目標値(平成31年度)65点以上【H27実績 52点】 ②定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回る【H27実績 214人転出超過】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	南地区マップづくり	南地区マップを利用した啓発事業	南地区マップを利用した啓発事業		南地区マップを利用した啓発事業
事業費	331,966	500,000	300,000	1,131,966	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	283,658	350,000	150,000	783,658	0
うち県交付金	141,829	175,000	75,000	391,829	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	48,308	150,000	150,000	348,308	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
連絡先	電話 0287-62-7151
	FAX 0287-62-7220
	E-mail kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	那須塩原市
事業名	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート
事業主体の名称	ファミリープラスバンドママソウル
代表者の名称	石井 百合子
事業主体の所在	〒325-0033 那須塩原市埼玉6-1397
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 一般吹奏楽団体に所属するのが困難な主婦を中心とし、子供も家族も参加可能な吹奏楽団体であり、演奏を楽しむとともに、訪問演奏を目標として活動することを目的とする。</li> <li>・設立年月日: 平成19年6月15日</li> <li>・構成員等: 44人(会の目的に賛同する個人)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	育児中の家族が音楽を楽しむ環境が少なく、クラシックコンサートなどは子供たちが飽きてしまい、大人は最後まで鑑賞できないことが多い。また、地域の子供たちは、気軽に生演奏に触れる機会も少ない。安心して子育てができる環境を作るとともに、未来を担う子供たちのために、音楽に触れる機会を増やすことが必要である。
事業目的	育児中の家族が気軽に参加でき、小さな子供たちも飽きることなく親子で、音楽に触れることで、情操豊かな心をはぐくむ。また、親子間でのコミュニケーションが増えるとともに、育児中の母親同士のコミュニケーション、触れ合いが生まれ、安心して子育てができる環境の一助となることを目標とする。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサートの開催</li> <li>&lt;開催日&gt;平成29年9月16日(土)</li> <li>&lt;場所&gt;那須野が原ハーモニーホール</li> <li>&lt;内容&gt;親子で楽しめる参加型のコンサート</li> <li>&lt;入場者数&gt;1620名</li> </ul> <p>《情報発信》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施にあたり、HPへの掲載の他、学校、保育園等にチラシ、ポスターにて周知</li> </ul> <p>【平成30年度以降】</p> <p>地域の保育園、幼稚園などにも訪問し、より近くで生演奏に触れてもらう機会を作る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】①未来を拓く子どもたちの健やかな成長のために</p> <p>【重点施策】「Kosodate(子育て)」子育て環境の整備、子育て親子の交流促進に寄与する。</p> <p>【目標指標】児童福祉の充実に対する市民満足度 基準値(平成22年度)48点 ⇒ 目標値(平成31年度)60点以上【H27実績 51点】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート	子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート		子育て世帯が親子で楽しめる吹奏楽コンサート
事業費	508,755	500,000	500,000	1,508,755	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	225,356	350,000	250,000	825,356	0
うち県交付金	112,678	175,000	125,000	412,678	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	283,399	150,000	250,000	683,399	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調書)  
【単事業】

市町名	那須塩原市
事業名	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」初演
事業主体の名称	グローバルカルチャー那須
代表者の名称	和田 準夫
事業主体の所在	〒325-0103 那須塩原市青木25-1540
事業主体の概要	<p>・団体の目的:那須地域を発信地として、文化、芸術の振興を図ると共に、その基盤である環境の保全と観光の健全なる共生発展のため、これらの活動に関する調査、研究、宣伝および情報提供、その他関係諸機関と連携を図り、文化の伝承と向上に努め、会員相互の親睦と融和を図り、もって地域の活性化と人材育成に寄与することを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成16年2月18日</p> <p>・構成員等:会の目的に賛同する個人(27人)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	那須塩原市とオーストリアのリンツ市は、姉妹都市提携を結び、1周年を迎える。国際交流の観点から、行政、市民による様々な分野での交流が期待されているが、身近に交流機会が少ないことも事実である。相互の地域の活性化及び人材育成を促進するためにも、相互理解と友好を深める効果的な交流を行うことが課題である。
事業目的	姉妹都市であるリンツ市との市民レベルでの文化交流の活性化を図ることにより、本市の国際交流の一助になることを目的とする。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>■姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」初演</p> <p>&lt;開催日&gt;平成29年7月2日</p> <p>&lt;場 所&gt;那須塩原市三島ホール &lt;参加者数&gt;約300名</p> <p>&lt;内 容&gt;日本文化に触れることの少ないリンツ市へ和文化和那須塩原市を紹介し、市民レベルの文化交流を行うことを目標とし、那須地域の著名な「那須の与一」を取り上げ、日本の伝統芸能である三味線音楽と女流舞踏家による「平家物語 那須の与一の段」の初演を行った。会場では、リンツ市の紹介パネルの展示、姉妹都市交流員との公開対談、市内小中学校ALTIによる日本舞踊をあわせて実施した。</p> <p>《情報発信》</p> <p>・事業の実施にあたり、HPへの掲載、チラシ、ポスターを市内施設に設置する他、県北地区を中心に市外にもチラシ配布を行う。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>市内外での公演により日本伝統芸能の継承を目指し、さらには姉妹都市リンツ市での異文化交流としての公演を計画している。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標】未来に集う人々の活発な交流のために</p> <p>【重点施策】「Kouryu(交流)」国際交流の推進に寄与する。</p> <p>【目標指標】定住促進計画期間において、市への転入者数が転出者数を上回ること。【H27実績 214人転出超過】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	平成31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」の初演	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」の公演	姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」の公演		姉妹都市リンツ市との和文化交流を目指し「平家物語 那須の与一の段」の公演
事業費	1,571,572	1,000,000	1,000,000	3,571,572	1,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	900,000	700,000	500,000	2,100,000	0
うち県交付金	450,000	350,000	250,000	1,050,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	671,572	300,000	500,000	1,471,572	

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	市民協働推進課 協働のまちづくり室
担当者名	田中 幸子
電話	0287-62-7151
FAX	0287-62-7220
E-mail	kyoumachi@city.nasushiobara.lg.jp